

令和3年度 授業計画（シラバス）

| | | | | | |
|---|--|--------|--------|-------|-------|
| 科目名 | 基礎看護学実習 I | 科目区分 | 専門分野 I | 授業の方法 | 実習 |
| 対象学年 | 1 学年 | 単位(時間) | 1 (45) | 開講時期 | 1 年後期 |
| 担当教員：堀 寿美枝 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師としての実務経験と看護教員としての経験を活かし、看護職の役割と機能について教授している。 | | | | | |
| ≪科目目標≫ 実習目的：講義で学んだ看護の機能や基礎看護技術の知識・技術やその考え方を基に、病院の機能・役割、療養生活環境を知り、患者とのコミュニケーションや援助を通して、今後学習するにあたり自分が大切にしていきたいことを考える。 | | | | | |
| ≪成績評価の方法≫ 実習評価表に基づき評価する。 | | | | | |
| ≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ | | | | | |
| ≪授業外における学習方法≫ 事前学習、課題学習を行う。 | | | | | |
| ≪履修に当たっての留意点≫ 臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・演習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。 | | | | | |
| 実習プログラム | | | | | |
| 実習期間 時間数 | 1 学年後期 合計 45 時間 | | | | |
| 実習内容 | 1. 病院の機能と役割を理解する 2. コミュニケーション技術を意識して、患者さんと関わるができる 3. 患者の状態に合わせた援助がどのように実施されているかを学び、患者の思いに沿いながら援助を考えることができる 4. 看護について考えたことをまとめる 5. 看護者として望ましい態度とは何かを考え、行動する | | | | |